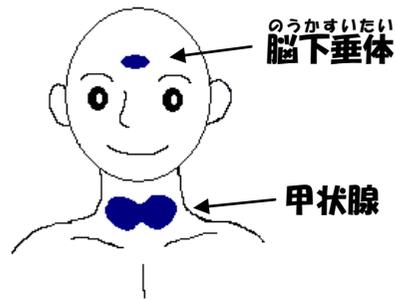


バセドウ病とは…

(甲状腺機能亢進症)

<1>甲状腺ホルモンのはたらき

- * タンパク・核酸の合成・分解の促進および血糖合成や脂肪の合成・分解の促進など全身の細胞活動が活発になります。



<2>症状

- * 全身症状: 食欲旺盛にもかかわらず体重減少、気分がイライラして神経質になる、汗かきになる、心臓がドキドキする、血圧が高くなる、手指がふるえる、筋肉の脱力感が強くなる、軟便や下痢になる、熱っぽくなる、月経不順、暑さに弱い
- * 眼の症状: 眼球突出、眼光鋭利
- * 甲状腺のはれ: 全体的にはれぼったくなる(橋本病のように固くはない)

<3>原因

- * 甲状腺ホルモン(フリー T_3 、 T_4)の生産は脳下垂体から出る甲状腺刺激ホルモン(TSH)によって調節され、甲状腺ホルモンが多くなると、TSHの分泌が少なくなる事で甲状腺ホルモンの生産が抑えられます。(ネガティブ・フィードバック)ところが、バセドウ病では、リンパ球の作る抗TSHリセプター抗体(TRAbs、TSABs)が、どんどん増えて、これが、TSHの代わりに甲状腺を刺激し続けるため、甲状腺ホルモンは増え続ける事になります。

